

令和元年度 学校評価(保護者アンケート) 12月実施

各評価は%表示

調査項目・評価		4	3	2	1
1 学力向上	学校は、確かな学力の向上のため工夫した取組を行っている。	33	55	12	0
	学校は、学習のきまり等についての指導を徹底している。	33	56	11	0
	学校は、将来の夢や進路について適切な指導を行っている。	13	54	32	1
	子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	39	48	10	3
2 豊かな心	子どもは、本をよく読んでいる。	35	31	24	10
	子どもは、家庭学習の習慣が身に付いている。	45	42	9	4
	学校は、子どもをよく理解している。	35	51	11	3
	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに努めている。	38	53	6	3
3 健康な体	学校は、子どものことについて適切に相談に応じてくれる。	43	51	4	3
	学校は、生命尊重や規範意識を育てようとしている。	40	49	10	1
	子どもは、学校へ行くのが楽しいと言っている。	52	35	10	3
	子どもは、進んであいさつができています。	33	37	38	2
4 地域連携	学校は、事故防止等の安全対策に配慮している。	45	48	6	1
	学校は、子どもの体力向上に努めている。	36	51	10	3
	子どもは、毎朝決まった時間に起きています。	57	28	11	4
	子どもは、朝ご飯を食べて登校している。	83	12	5	0
5 調査結果H29～R1	学校は、教育活動の内容を、学校だよりやHP、学級だより等で伝えている。	65	31	4	0
	学校は、子どもの学習や生活の様子を適切に評価している。	54	38	7	1
	学校は、地域の環境や人材を教育活動に生かしている。	55	36	7	2
	子どもは、地域行事に積極的に参加している。	30	38	28	4

【調査結果H29～R1】

	そう思う			ややそう思う			そう思う・ややそう思うの合計			
	R1.12	H30.12	H29.12	R1.12	H30.12	H29.12	R1.12	H30.12計	H29.12計	前年度差
1	33	25	30	55	60	66	88	85	96	3
2	33	27	30	56	61	63	89	88	93	1
3	13	12	9	54	56	58	67	68	67	-1
4	39	27	28	48	55	56	87	82	84	5
5	35	23	21	31	40	35	66	63	56	3
6	45	43	39	42	37	43	87	80	82	7
7	35	27	34	51	61	54	86	88	88	-2
8	38	26	27	53	55	60	91	81	87	10
9	43	37	32	51	49	50	94	86	82	8
10	40	25	29	49	58	59	89	83	88	6
11	52	42	50	35	40	39	87	82	89	5
12	33	25	22	37	45	51	70	70	73	0
13	45	43	44	48	48	51	93	91	95	2
14	36	29	32	51	56	52	87	85	84	2
15	57	64	69	28	30	23	85	94	92	-9
16	83	86	78	12	12	16	95	98	94	-3
17	65	58	58	31	36	37	96	94	95	2
18	54	37	42	38	52	48	92	89	90	3
19	55	39	42	36	52	50	91	91	92	0
20	30	14	14	38	42	36	68	56	50	12

	あまりそう思わない			思わない			あまりそう思わない・思わないの合計			
	R1.12	H30.12	H29.12	R1.12	H30.12	H29.12	R1.12	H30.12計	H29.12計	差
1	12	15	3	0	0	1	12	15	4.5	-3
2	11	11	7	0	1	0	11	12	6.5	-1
3	32	29	31	1	3	2	31	32	33.2	-1
4	10	17	15	3	1	1	7	18	16.3	-11
5	24	27	34	10	10	10	14	37	44	-23
6	9	15	15	4	5	3	5	20	18.3	-15
7	11	11	11	3	1	1	8	12	12.4	-4
8	6	17	11	3	2	2	3	19	13	-16
9	4	12	15	3	2	3	1	14	17.6	-13
10	10	18	12	1	0	0	9	18	11.1	-9
11	10	13	9	3	5	2	7	18	11.7	-11
12	38	27	24	2	3	3	36	30	26.8	6
13	6	8	3	1	1	1	5	9	4.5	-4
14	10	14	16	3	1	0	7	15	16.3	-8
15	11	5	8	4	1	0	7	6	7.8	1
16	5	1	5	0	1	1	5	2	6.5	3
17	4	6	4	0	0	1	4	6	4.5	-2
18	7	9	10	1	2	0	6	11	9.8	-5
19	7	8	8	2	1	0	5	9	7.8	-4
20	28	33	34	4	11	16	24	44	49.6	-20

<結果>

○H30年は、前年度比マイナス項目が15項目あったが、R1年は5項目に減少している。R1年度に限ってみれば20項目中15項目がプラス評価になっている。
 ○「9 学校は、子どものことについて適切に相談に応じてくれる。」「20 子どもは、地域行事に積極的に参加している。」の2項目は2年連続で上昇している。
 ○「4 子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。」「5 子どもは、本をよく読んでいる。」「6 子どもは、家庭学習の習慣が身に付いている。」「8 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに努めている。」「9 学校は、子どものことについて適切に相談に応じてくれる。」「10 学校は、生命尊重や規範意識を育てようとしている。」
 「14 学校は、子どもの体力向上に努めている。」「17 学校は、教育活動の内容を、学校だよりやHP、学級だより等で伝えている。」「18 学校は、子どもの学習や生活の様子を適切に評価している。」「20 子どもは、地域行事に積極的に参加している。」の10項目は3年間で数値が最も高くなっている。

- 「7 学校は、子どもをよく理解している。」「15 子どもは、毎朝決まった時間に起きています。」の2項目は3年間で数値が最も低くなっている。
- 「7 学校は、子どもをよく理解している」「15 子どもは、毎朝決まった時間に起きています。」が2年連続で減少している。
- 「3 学校は、将来の夢や進路について適切な指導を行っている。」「5 子どもは、本をよく読んでいる。」「12 子どもは、進んであいさつができています。」「20 子どもは、地域行事に積極的に参加している。」の4項目はプラス評価が80%を切っている。

<考察>

○「前年度比プラス評価が15項目に上昇していること」や「3年間で最も高い数値が10項目」あるのは、教諭1人1人が児童、保護者、地域に向けた各種取組について十分に理解し、実践につなげているからだと考えられる。
 ○2年連続上昇の項目のなかで、特に項目9は、保護者への小さな連絡、相談を行っている結果だと考えられる。

- 項目7、15に関しては、児童理解のための校内で行う取組内容や家庭への周知、協力依頼が足りていないことが考えられる。
- 項目3、5、12、20に関しては、各取組の目的やねらいが児童に伝えられていないことや保護者との連携が足りていないことが考えられる。

<改善策>

□教育相談週間を活用して児童理解に取り組んだり、そこで気になったことを保護者と相談したりするなど、日常の様子について保護者と情報共有、確認しながら進めること。
 □マイナス評価になっている全ての項目における取組の際に、児童の主体性や自主性が発揮できていないのではないかと推測できる。そこから、「なぜ、この活動を行うのか」「この活動を通して、身につく力はどのようなことなのか」など、教師側の持つ目的やねらいを児童や保護者とも共有していくことで、児童の意欲を喚起し、主体的な取組へとつなげる必要がある。

]